

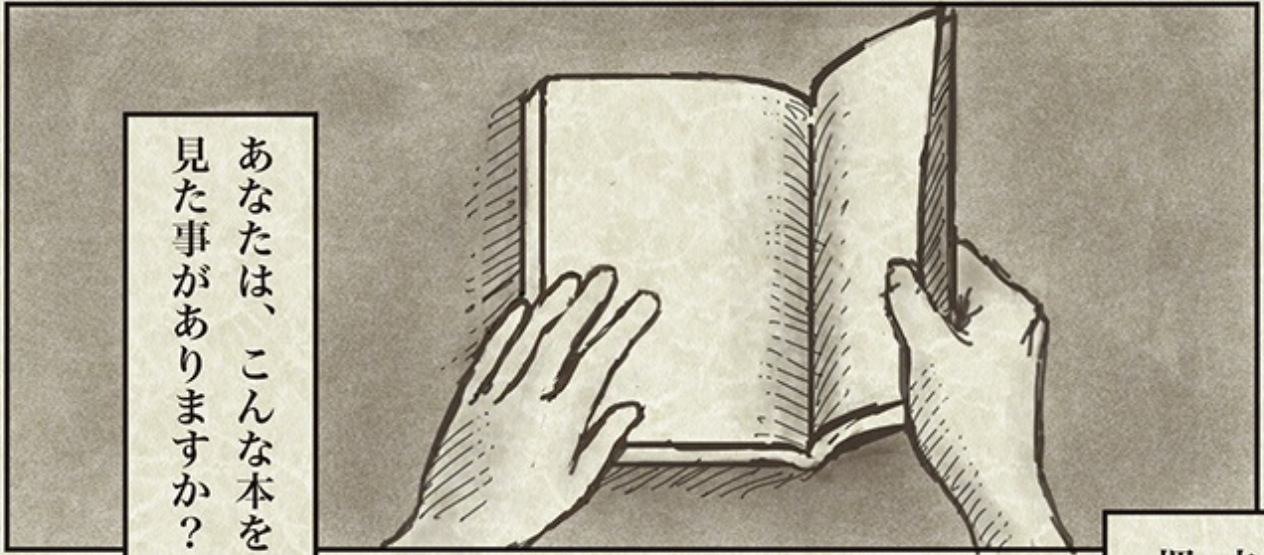



トリストラムの古本屋

Book 1. 読むだけでお腹が
いっぱいになる本

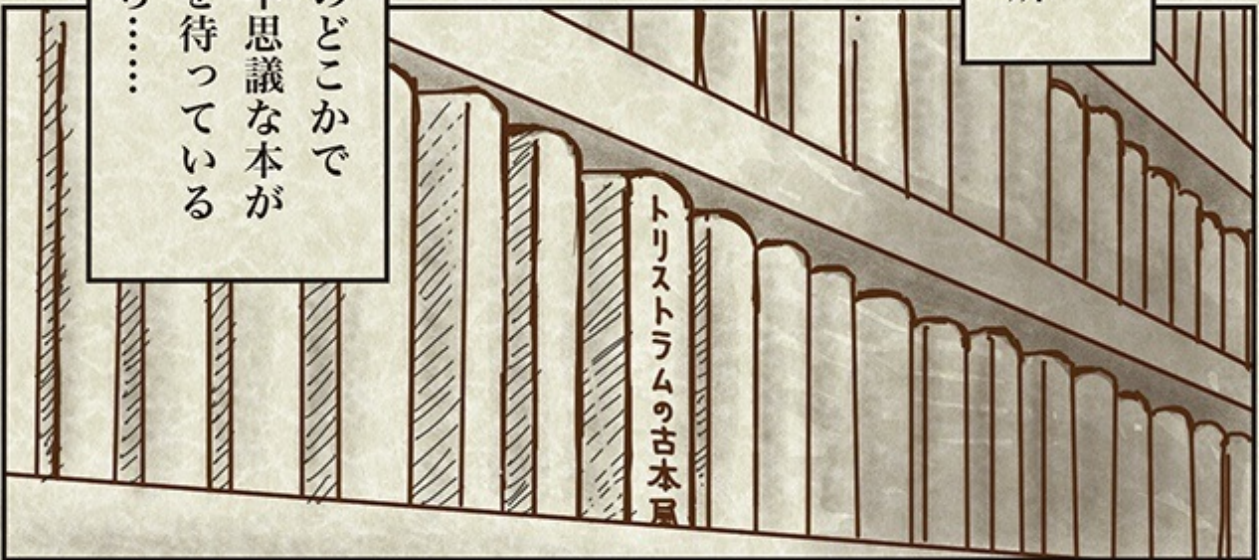
トリストラムの古本屋

漫画：夏色ノ箱



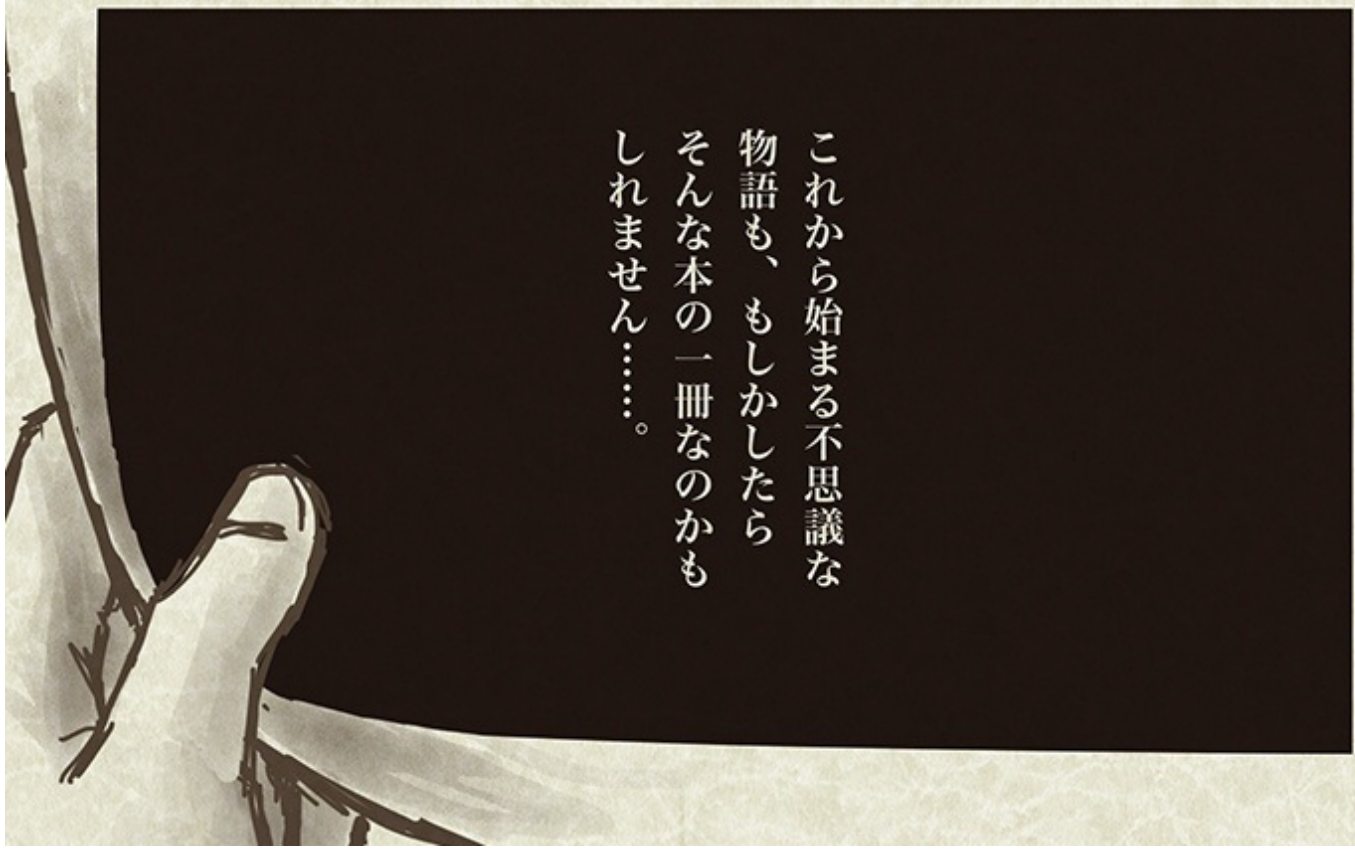


図書館や古本屋の
棚の目立たない場所



この世のどこかで
そんな不思議な本が
あなたを待っている
としたら……

トリストラムの古本屋

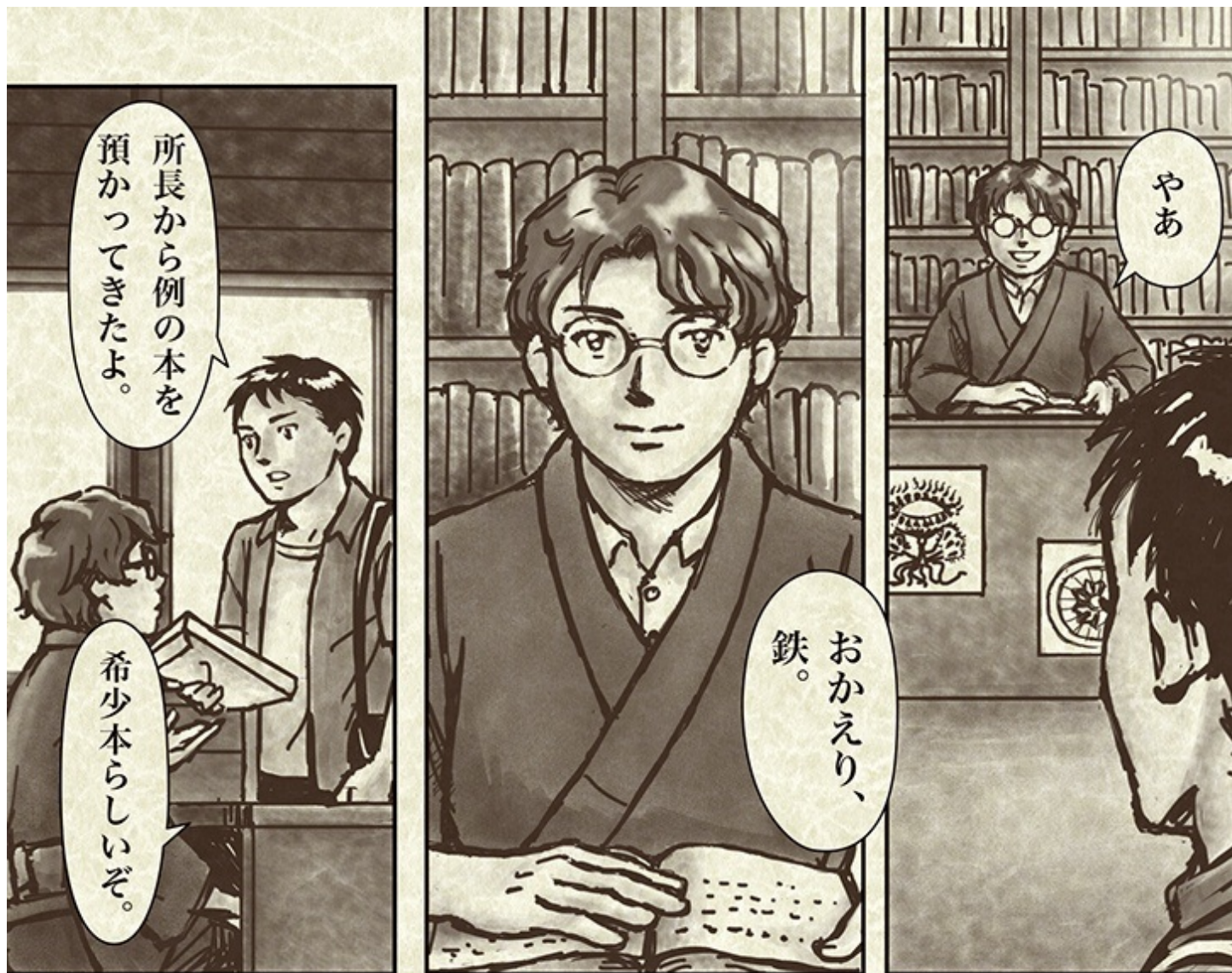


これから始まる不思議な
物語も、もしかしたら
そんな本の一冊なのかも
しれません……。











14〜15世紀に書かれたと
思われる古文書だよ。

文字も絵も奇怪で不可思議、
研究者による暗号解読も
いっこうに功を奏さない。

Yale University Library



絵を見れば大体
分かるんじゃないのか？

奇怪な管に植物、意味不明な
星図、裸の女性たち。

何だったら君が
謎を解いてみる？

.....



古本屋ウィルフリド・
ヴォイニッチが1912年に
発見してから百年、
いまだ謎のまままだ。

世界にはそんな
おかしな本がたくさん
存在しているんだよ。



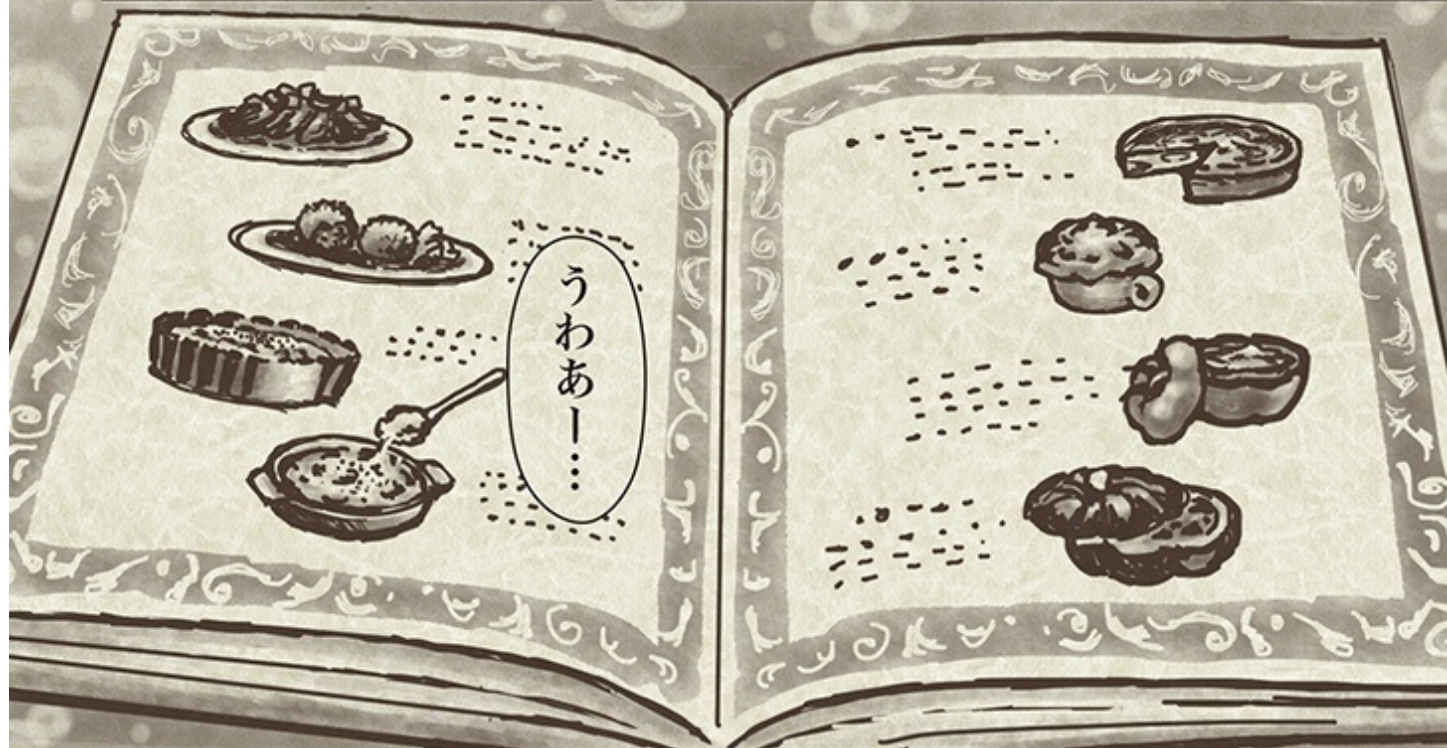






はは、本当なら
すごいな。

うん、なんだかこの本
見ると本当にお腹が
いっぱいになるような
気がしてくるわ。

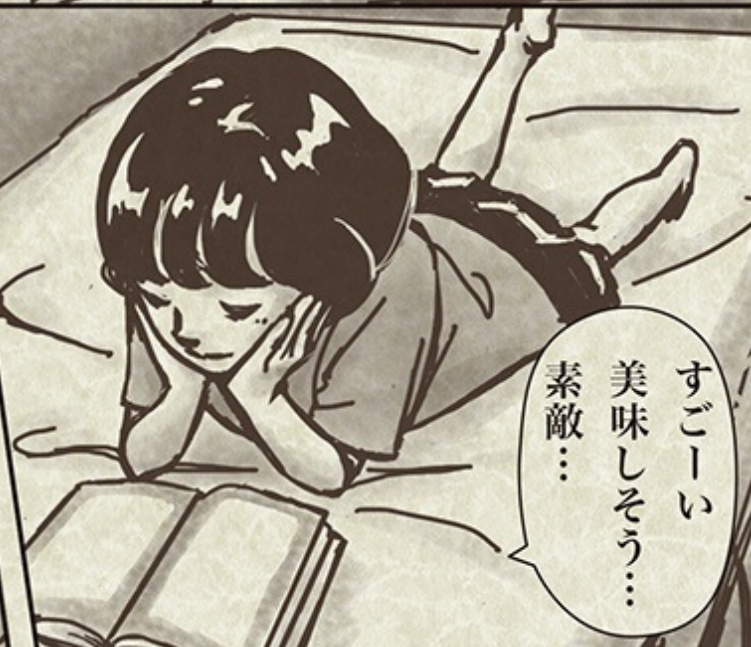


こんなにたくさん

ぜーんぶ食べられたら
いいのに...



すごい
美味しそう...
素敵...






—— 華々々


華々々

!




華さま、
豚肉のポワレで
ございます。

ホタテ貝の
テリーヌで
ございます。




スズキの
パイ包み焼きで
ございます。

ブランマンジェで
ございます。



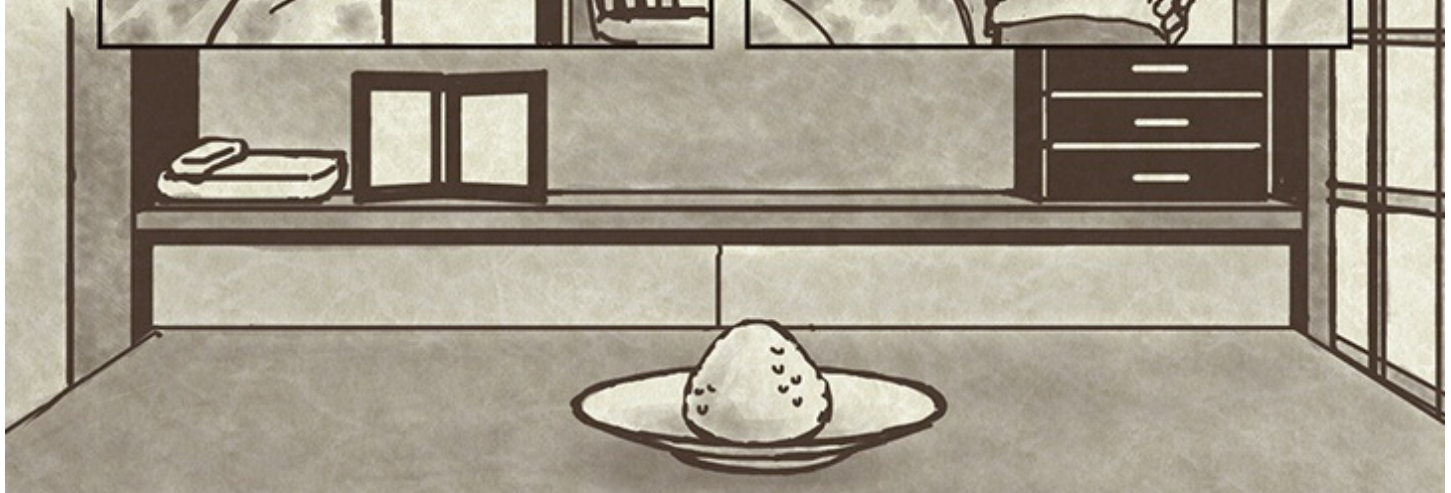
さあ、
好きなだけ

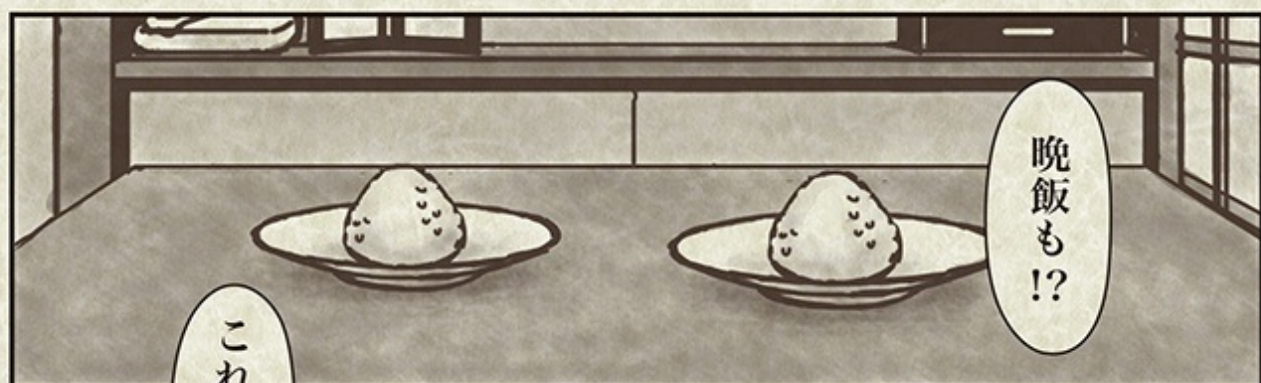
どうぞ、
お召し上がり
くださいませ。




こんなに
たくさん

本当に
食べても
いいのー？












華お嬢様、
今日は
イタリア料理で
ございます。




ニヨッキの
クリームソースで
ございます。




タコの
カルパッチョで
ございます。




きのこの
リゾットで
ございます。



チーズのトルテリーニ、
トマトソース仕立てで
ございます。



モンブランで
ございます。



もう、それ
イタリア料理じゃ
ないから♡

いただきまーす！



!



お、お嬢様、
それよりもっと
お食べなさい
まし！



あの鏡は何？
かわいいわね。



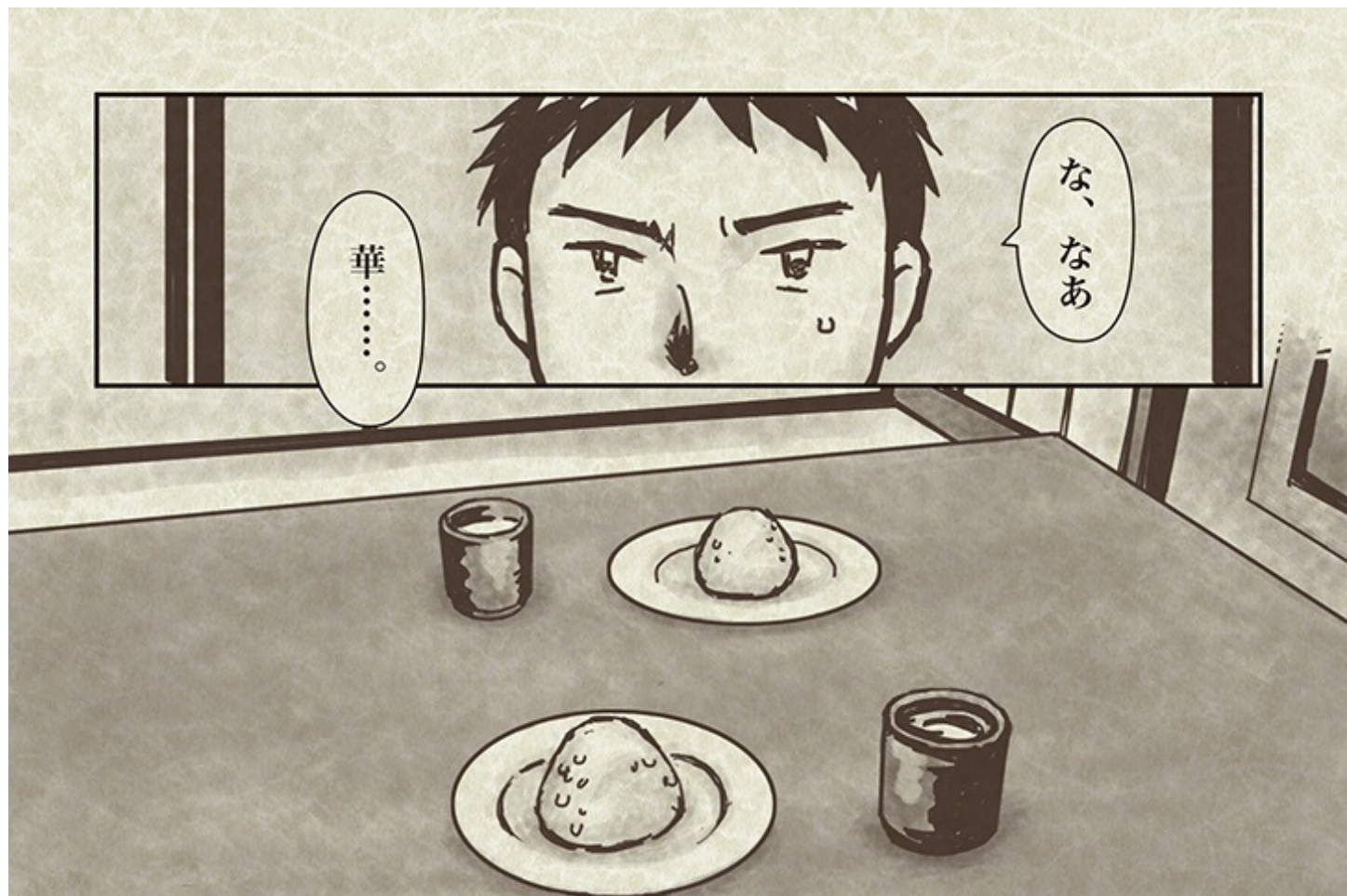
素敵！

なんて楽しい
のかしら！



ここは本の中の
幻想世界。

どんなに食べても
太りませんよ。



華……。

な、なあ



大丈夫
じゃない？

全然、
なんともないし

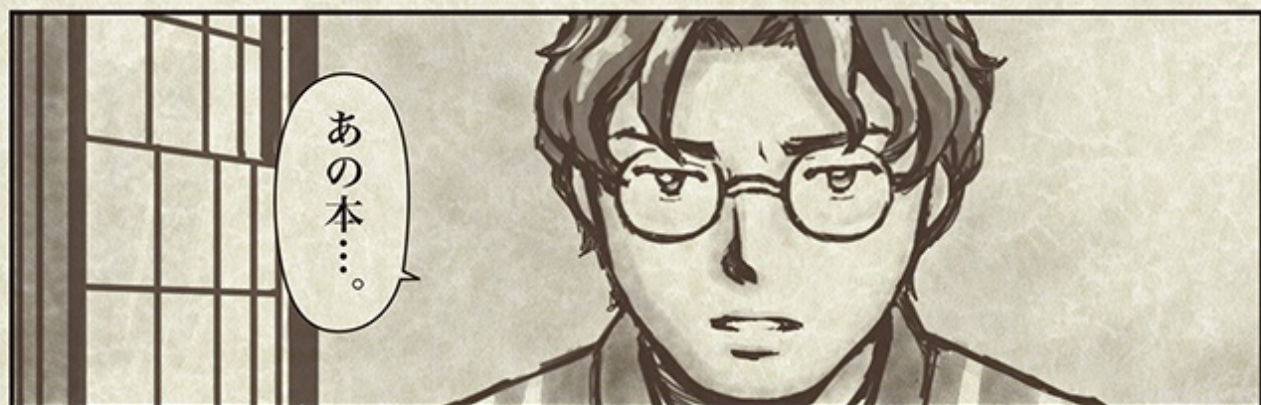



ちよつと
やりすぎだ。

今日も何も
食べてないん
じゃないのか？




お前……






華お嬢様

今日も素晴らしい
お料理をとり
そろえております。




もう、こんな
楽しい本って
ない。

ずーっとこうして
食べていたいわ。



そうでしょう、
そうでしょう。



もっとお食べ
なさいませ。

ねえ…

あの鏡、
あんなに
黒かった？

お嬢様、
そっちは…









この本を読むと
引き込まれ、鮮やかな絵や
文章を見ているだけで

本の中で食事を
したような気になって
しまうんだろう。



眩惑的効果が
ありすぎるために
裏でしか取引されない
ほど危険な作家だ。

なぜ本屋にあったかは
わからないが……



ま、まさか
そんな事が……



わ、私……

………



おお、華、
大丈夫か!?

うーん……







「トリストラムの古本屋」
book.1. 終わり。

登場人物紹介



古屋 基 (ふるや もと)

古本屋「トリストラム堂」主人。
国内外の「奇書」に詳しい。
性格は穏やかで常に本を読んでいる。
なぜか、いつも着物と下駄を着用。



若宮 鉄 (わかみや てつ)

基とは幼なじみ。印刷所勤務。
実家が所有する築100年の
活版印刷所跡を古本屋に改装して
基に貸している。
両親が海外へ転勤したため、
実家で妹と二人で暮らしている。
健康が取り柄。



若宮 華 (わかみや はな)

鉄の妹。食べ盛りの高校1年生。
趣味は、料理。



[銀河鉄道の夜 前編 \(無料\)](#)

宮沢賢治の代表作「銀河鉄道の夜」を全ページカラーでコミック化。銀河の岸を走る列車に乗り、ジョバンニは親友のカムパネルラとともに、旅に出る。どこまでも行ける切符を持って。



[銀河鉄道の夜 後編 \(380円\)](#)

宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」のカラーコミック、後編。銀河の川岸を走る列車に乗ったジョバンニとカムパネルラは、そこで様々な人に出会う。日本人の心に響く、美しく孤独な魂の物語。



[無限迷宮物語 \(無料\)](#)

カラーコミック。「堂々巡り」をテーマにした短い3つの物語。夢の中の不思議なお話。タイムマシン殺人事件。そして。

ファン コミック。『聖、巡行』と『聖、たじろ』の物語。多岐にわたる心臓の物語、そして、その後の物語、そして永久に終わらない物語。ちょっと怖くて不思議な幻想漫画をお楽しみください。

トリストラムの古本屋

<http://p.booklog.jp/book/58105>

著者：夏色ノ箱

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/natsuironohako/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/58105>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/58105>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ